

# 安全データシート

作成日 2002年 7月 16日  
改訂日 2014年 2月 20日

## 1. 製品及び会社情報

製品の名称

アサヒボンドHA

会社名

アサヒボンド工業株式会社

住所

東京都板橋区大谷口北町3-7

担当部門

営業部

電話番号

03-3972-4929

FAX番号

03-3972-4583

緊急連絡電話番号

03-3972-4929

推奨用途及び使用上の制限:

コンクリートへのアルカリ付与に限る。

整理番号 11051

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類

分類基準に該当しない。

GHS分類区分に該当しない、又は分類できない場合の危険有害性

物理化学的危険性

不燃性であり、引火性、酸化性、自己反応性、爆発性なし。

健康に対する有害性

アルカリ性を示し、皮膚や粘膜に弱い刺激作用がある。

環境に対する有害性

流出により水質汚濁の原因になる。

## 3. 組成及び成分情報

単一物質・混合物の区別

単一物質の水溶液

化学名または一般名

珪酸リチウム水溶液

成分情報

化学名又は一般名

濃度又は濃度範囲

CAS番号

官報公示整理番号

珪酸リチウム

12~17%

12627-14-4

I-770

## 4. 応急措置

吸入した場合

・空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

水でよく口の中をうがいする。必要に応じて医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

・速やかに汚染した衣服や靴などは脱ぐ。アルカリ性の製品なので、付着した部分は石けんを使用しないで微温湯又は水を流しながら、皮膚の刺激やぬるぬるする感じが無くなるまで洗い続ける。皮膚に異状があれば、医師の診断を受ける。

眼に入った場合

・清浄な水で最低15分間以上洗眼し、直ちに医師の診断を受ける。

洗眼の際は、まぶたを指でよく開いて、眼球やまぶたの隅々まで水がよく行きわたるように洗浄する。

飲み込んだ場合

・水でよく口の中を洗浄する。多量の水を飲ませて可能であれば、吐き出させる。直ちに医師の診断を受ける。

## 5. 火災時の措置

消火剤

本製品は不燃性である。周辺火災に適応した消火剤を使用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項と保護具及び緊急時措置

・漏出した場所にはロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。

作業の際は、皮膚に付着しないよう、眼に入らないように保護具を着用する。

環境に対する注意事項

・できるだけ回収する。そのあとは多量の水を用いて洗い流す。この場合、pH6~8の範囲で洗い流し、濃厚な液が河川等に排出されないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法と機材

・少量の場合は、ウエス等で拭き取る。

多量の場合は、土嚢等で拡散防止を計ってから、ポンプ等でドラムやタンクまたはローリーに出来るだけ回収する。回収できなかった残分は、塩酸又は硫酸等で中和する。

**7. 取り扱い及び保管上の注意**

## 取り扱い

技術的対策

局所排気／全体換気

安全な取扱注意事項

眼や皮膚および衣服に触れないように、適切な保護具を着用する。

屋内作業場での使用の場合は、発生源の密閉化または局所排気装置を設置する。

漏れ、あふれ、飛散しないようにする。容器を転倒や落下させたり、衝撃を加えたり、又は引きずる等の粗暴な取扱いをしない。

濃厚な酸を加えてはならない。

使用済みの空容器は一定の場所を定めて集積する。

保管

技術的対策

適切な保管条件

冷暗所に貯蔵する。

直射日光を避け、冷暗所に貯蔵する。密閉して、空気との接触を避ける。

凍結するとゲル化して元に戻らないので、常温で保管すること。

適切な容器包装材料

ステンレスもしくはポリエチレンの容器

不適切な容器包装材料

ステンレス以外の金属容器

**8. 暴露防止及び保護措置**

## 設備対策

取扱う作業場の近くには、手洗い・洗眼器と安全シャワーを必要に応じて設置すること。

屋内作業場での使用の場合は、発生源の密閉化または局所排気装置を設置する。

管理濃度

設定なし

許容濃度

日本産業衛生学会(2011年度版) 設定なし

ACGIH(2010年度版) 設定なし

保護具

呼吸器の保護具

防じんマスク(国家検定品)

手の保護具

ゴム製等

眼の保護具

保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具

長袖、ゴム製長靴

**9. 物理的及び化学的性質**

外観(物理的状態・形状)

液体

色

無色透明の液体

臭い

無臭

pH

11前後

融点／凝固点

融点;0℃以下

沸点

約100℃

引火点

引火性なし

発火点

発火性なし

燃焼性

爆発既なし

燃焼又は爆発範囲

情報なし

蒸気圧

水として3.1kPa(25℃)

蒸気密度(空気=1)

0.6

蒸気速度

情報なし

密度(比重)

1.1~1.2(25℃)

溶解性

水に任意に溶解する。

溶媒に対する溶解性

アルコール類に相溶し、炭化水素類には不混和

溶媒の溶解性

アルコール類に相溶し、炭化水素類には不混和

オクタノール／水分分配係数

情報なし

分解温度

分解性なし

粘度

25 mPa.s以下(25℃)

**10. 安定性及び反応性**

安定性

不燃性である。

危険有害反応可能性	引火性、可燃性、酸化性、自己反応性、爆発性等なし。 加熱・冷却、他の薬剤との混合によりゲル化することがある。 アルミニウム、亜鉛、錫、鉛等の両性金属を腐食するが、その結果現れた金属表面にけい酸及び金属酸化物の被膜を形成するために、防蝕の働きをすることが知られている。
避けるべき条件	フッ化水素酸とは激しく反応し、フッ化珪素ガスを発生する。 アルミニウム、亜鉛、錫、鉛等の両性金属を腐食し、引火性／爆発性の水素ガスを発生する。 濃厚な苛性アルカリとは激しく反応し、発熱する。 凍結すると、ゲル化して元に戻らなくなる。
混触危険物質	アルミニウム、亜鉛、錫、鉛等の両性金属とは接触させない。 濃厚な酸を加えてはならない。密閉して、空気との接触を避ける。 フッ化水素酸、酸類、アルカリとの混触 アルミニウム、亜鉛、錫、鉛等の両性金属

### 11. 有害性情報

皮膚腐食性・刺激性	アルカリ性を示し、皮膚や粘膜に弱い刺激作用がある。
眼に対する重篤な損傷・刺激性	アルカリ性を示し、眼の粘膜を刺激する。
呼吸器感作性・皮膚感作性	知見なし
変異原性(生殖細胞変異原性)	データなし
発がん性	発がん性があるとの報告はない。

### 12. 環境影響情報

水生環境有害性(急性)	情報なし
水生環境有害性(慢性)	情報なし
オゾン層への有害性	本製品はモントリオール議定書の付属書にリストアップされていないため、分類できないとした。

### 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	水で希釈後、塩酸や硫酸等で中和し、沈澱物を濾過分離する。 廃棄の際は、「廃棄物処理法」「水質汚濁防止法」等関連法規ならびに地方自治体の基準に従い、適切な廃棄物処理業者に処理を委託する。
汚染容器及び包装	関連法規ならびに地方自治体の基準に従って、適切な処分を行う。 空容器を廃棄する際は、内容物を完全に除去すること。

### 14. 輸送上の注意

国際規制	
国連分類	非該当
国内規制	
陸上輸送	非該当
海上輸送	非該当
航空輸送	非該当
特別の安全対策	運搬に際しては、容器に漏れのないことを確かめ、輯到、落下、損傷がないように積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。

### 15. 適用法令

労働安全衛生法、化学物質管理促進法、毒物劇物取締法	非該当
---------------------------	-----

### 16. その他の情報

(参考文献等)

- ①「15107の化学商品」 化学工業日報社
- ②「既存化学物質データ要覧」 1974年度版
- ③「新版毒物劇物取扱の手引」 1983年版時事通信社
- ④「危険物・毒物処理取扱いマニュアル」 1974年海外技術資料研究所

- ⑤「ザックス 有害物質データブック」 丸善
- ⑥「化学物質労働安全衛生規制便覧」
- ⑦「催奇形性等発生毒物に関する薬品情報」第1版 東洋書店
- ⑧「化学便覧」 丸善
- ⑨「化学物質毒吐データ総覧第11版」 米国国立職業安全衛生研究所編
- ⑩「労働衛生」 DEC.1991 VO1.381 (化学物質などの発がん性分類リストについて)

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保障をなすものではありません。また、注意事項は通常取り扱いを対象としたものなので、特殊な取り扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。